

地域住民が講師となり授業

12月10日(土)、大崎中学校において「コミュニティ・スクール土曜授業2022」が全校生徒を対象におこなわれました。

当日は地域内外の方々を講師として14講座が開かれ、テーピング教室や老舗の商品づくり体験、国際交流、プログラミング教室など、多種多様な講座に生徒は目を輝かせながら受講していました。

プログラミング教室では、同校出身で鹿児島工業高等専門学校の情報工学科在籍の脇田七夏さんが講師となり、生徒はプログラミングを体験し、指示したとおりにロボットが動くと歓声が上がっていました。



シルバー人材センターが 手づくりぞうきんを寄贈

大崎町シルバー人材センターが町内の小・中学校へ手づくりのぞうきんを寄贈し、その贈呈式が11月30日(水)に野方小学校でおこなわれました。

これは、同センターが地域への貢献を目的に平成23年から始めたものです。

同センターの会員が不要なタオルを持ち寄り、小物作り同好会が約450枚縫い、各学校に寄贈しました。



紙おむつリサイクルに関する説明会を開催

12月12日(月)、平良公民館において、紙おむつリサイクルに関する説明会を開催しました。

町は、志布志市、(株)ユニ・チャーム、(有)そおりサイクルセンターと令和2年2月から紙おむつのリサイクル推進のため分別試験収集に取り組んでいます。今回、町内15集落をモデル地区とし、新たに再生プラスチックを用いた専用袋を導入し、分別の徹底をめざします。

説明会では、住民の皆さんがユニ・チャーム職員からの本実証実験の説明を真剣に受けていました。